



最後まで、やり遂げた。

お互いの労をねぎらう団員たち。年齢も職業も違う仲間が、この日のために、数カ月間、早朝や夜間に練習を重ねてきました。そしてこの日、みんなで競技をやり遂げました。



# 実録！ ポンプ操法

毎年6月に開かれるポンプ操法大会は、訓練の成果を大勢の前で披露する一大イベント。若者たちは、日常生活では見られない表情を見せます。泣いた！笑った！——6月13日に開かれた市ポンプ操法大会での一瞬をカメラに収めました。



## 必死の形相

消防の操法大会では、指揮者の合図で消火活動に必要なホース延長、放水などの消火訓練を行います。声の大きさ、操法の正確さ、時間などが審査され、その点数で順位が付けられます。これまでの努力を形にするため、支えてくれた団員や家族の期待に応えるため、選手は、必死の形相で競技会場を駆けてゆきます。



## 気になる結果は・・・

順位や点数は、すべてのチームの競技が終了した後、即座に掲示されます。団員はケータイで審査結果を記録。さながら受験の合格発表のような雰囲気です。

## 特集◎ふたつの顔



小型ポンプ操法の部優勝の第6分団(写真上)と、ポンプ車操法の部優勝の第9分団第3部(写真右)の選手の皆さん。この後、市消防団の代表として、松本消防協会の大会に出場し、優勝を果たしました。(前ページ参照)

